

マンションTOPICS

マンション管理員講習レポート



NPO法人
北海道マンション管理士会
副理事長・
マンション管理士
辻 信雄さん



管理員として
個々の資質・
スキルアップを目指す

日本マンション管理士連合会に加入のマンション管理士会は、全国で50会ありますが、3月5日に当会が全国で最初に開講しました。受講申込は14名で、管理員をしている方7名、これから管理員になりたい方6名。管理組合の役員就任時に備える住民の方1名でしたが、住民の方が体調不良で欠席となりました。受講申込者の内訳は、男性13名、女性1名、年齢では39歳から70歳、平均年齢は60歳。また、受講修了者は13名中、12名が3月20日実施の「マンション管理員検定試験」を受験しました。

全国でも、初のマンション管理員検定試験は、昨年9月に第1回が行われ、札幌会場の受験者は27名(全国で1300名)でしたが、本年3月20日開催の第2回目の検定試験の

受験者は39名と、大幅に増加し注目されています。なお、第3回の検定試験は、9月23日(日)に決定されましたので、それに合わせて、当会の第2回目の次回講習は8月17日(金)スタートで開校を決定しました(当会の函館・旭川地区等の開講は検討中です)。また、募集人員は、既に次回受講のお問合せもあることから、20名限定に増員しました。

今回の講習は18時から20時半とし、7回の講義、2回の模擬テストと解説、計9日間で行われました。受講料は1万3800円(テキスト・問題集込み)で、「マンション管理員検定協会」編集による公式テキストと公式問題集を使用した講義を実施しました。

講義の内容は、①マンション管理協会の管理組合の運営②建物の構造と設備③管理員の実務④マンションの管理に関する法令等及びその実務⑤マンション管理の情勢の管理会社への就職の現状と対策でしたが、マンション管理員検定協会のホームページには北海道(札幌)地域の皆さま必見です!

◆全国初の「マンション管理士会」主催による「マンション管理員講座」が開講、講師全員がマンション管理士



◆と掲載されました。また、当会ホームページや、本紙さくらが北海道新聞で紹介され、当初10名の限定募集でしたが、ご要望が強かったことから、ようやく広い会場を確保し、14名の応募を受けることができました。

講義では、①テキストの重要箇所の強調②テキストと問題集との関連づけ③模擬テストの解答の説明と質疑応答④関連した問題の傾向とその対策⑤アンケートの振り返り⑥説明・疑問を正しく理解し、誤解等の防止対策等に配慮していました。

マンション管理員検定の合格はもちろん、合格者の中で上位15%の者に贈られる「マネージャー」の認定ピンバッジを目標としての活発な質疑応答に熱気が感じられました。※受験者数39名は申込者数です。

第3回
マンション管理員検定
9月23日(日)
一社団法人
マンション管理員検定協会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀4丁目
9番6号海都ビル
TEL:03-3524-8150
mail:kentei@m-kanken.or.jp

管理会社の方からのコメント
管理員を目指す方には、管理員の仕事の内容や心構えが、既に管理員をしている方にとっては、管理員の意識の高揚となり、管理会社にとっても大変有意義な事ですね。

管理会社にお勧めの方
既に管理員として働いている方は、実務を専断したこの講習や検定試験を通じて、実務の精進度や管理員としての資質が測られ、向上心にも寄与、プロ意識が高まりました。

マンション管理員を目指す方
＜Aさん＞管理会社等への就職活動に役立つと思い受講しました。マンション管理の実務で役立つ知識のポイントが理解でき、他の就職希望者との差別化が図れるので、この講習・検定試験の合格が、管理員への一番の近道と思いました。
＜Bさん＞すでに管理員の方、これから目指すという方共に、マンション管理員検定試験の受験に大変役立つと思います。
＜Cさん＞管理組合の役員になった時に活用したいですね。



現在、マンション管理の質の向上のためには、マンション管理員の資質の向上が求められています。管理会社の多くは、社内教育で育成していますが、その基準はさまざまでした。今回「管理員の方々に、マンション管理員検定を受講してもらおう」として、管理員としての質向上をはかり、その基準の一つとして今年3月20日に第2回目の管理員検定が行われました。今回は、その検定試験の合格を目標として3月5日から9日間にわたって行われた「マンション管理員講習」の様をお伝えします。

マンション管理員講習とは?